

うきよえ ござも浮世絵しんぶん

第13号
藤澤浮世絵館発行
8月

やあやあ！ オニカゲ学芸員だよ。突然だけど、

みんなは江の島に行ったことはあるかな？

左の写真は、僕が江の島まで行った時に、片瀬

海岸東浜からとった江の島の風景だよ。ここから

は、浮世絵でも描かれた江の島のある風景を見る

ことが出来るんだよ。



いま かつせ かいがんひがしま え しま
今の片瀬海岸東浜からみた江の島

今でも江の島は、たくさん
の人が訪れる観光地として有
名だけど、それは弁財天とい
う神様がまつられている、江
島神社へのお参り（江の島詣）
がさかんだった、江戸時代も
同じだったんだよ！



うたがわひろしげ そうしゅう え の しま べんざいてん かいちようさん けいぐん しゅう の ず
歌川広重 「相州江之嶋弁才天開帳参詣群集之図」

すごい数の人だなあ！
こんなにたくさんの人
が、江の島詣に行った
んだね！



右の浮世絵は、江戸時代の江の島詣の
ようすを描いているよ。江の島詣をテ
マにした浮世絵には、この絵のように砂
浜を歩いて江の島に行く旅人を描いたも
のも多いんだ。
でも、江戸時代の人たちはどう歩いて
江の島まで行ったのかが気になるよね。
次のページからは、江戸時代の人たちも
歩いた、江の島道についての話をするよ！

江の島道を歩いてみよう！

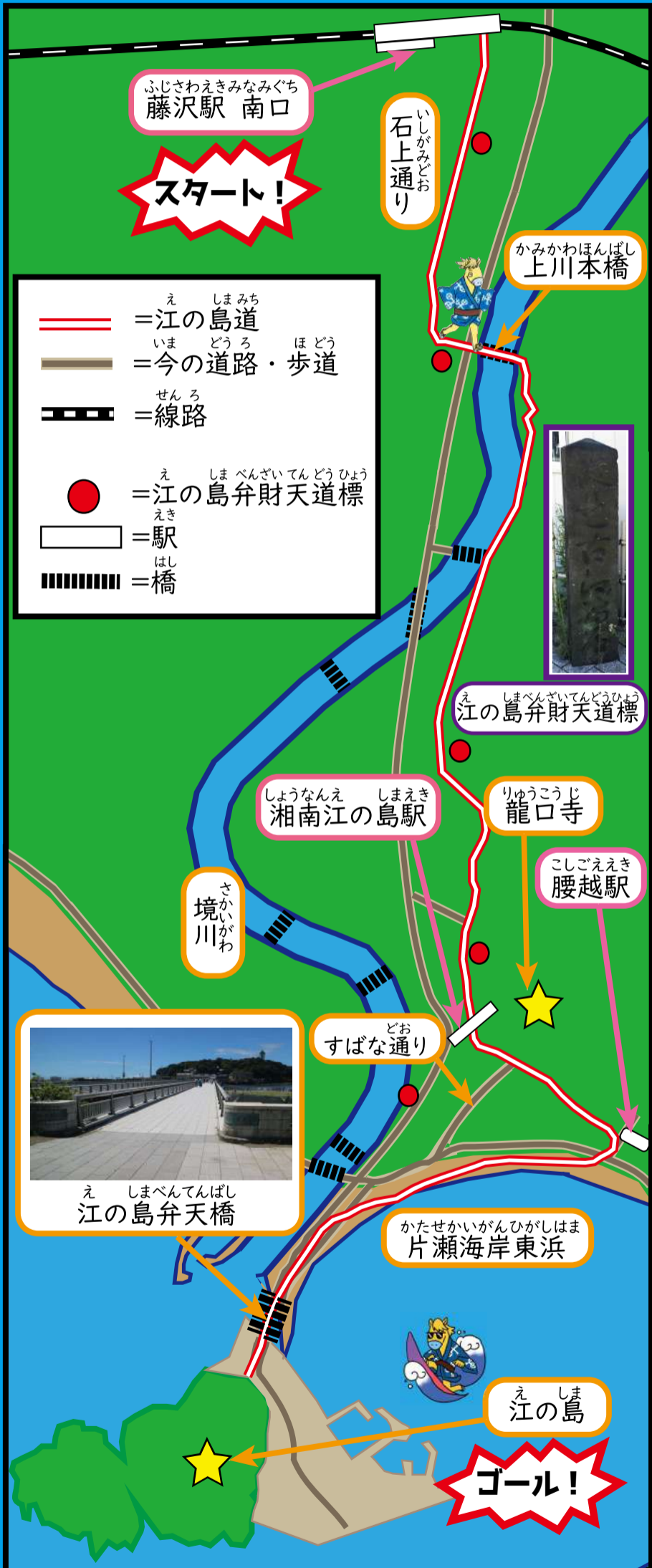
藤沢駅南口から江の島に向かって、江戸時代の人が歩いていた江の島道に沿って歩いたよ！

まずは石上通りを、江の島弁財天道標という、

江の島道の近くにいくつもある、石でできた道しるべをたよりに南にむかって歩いて、湘南江の島駅（湘南モノレール江の島線）をめざそう。

ここからは龍口寺の近くで右に曲がって、すばな

江の島道マップ



※江の島道の紹介を主としているため、周辺の他の道路・各私鉄の線路等は省略しています。

通りを進んでいくルートもあるけど、今回は腰越駅（江ノ島電鉄線）の近くまで来たら、江の島を見ながら歩く事ができる片瀬海岸東浜を目指すルートで歩いたよ！
海岸に沿って歩いていくと、江の島へ行くための橋、江の島弁財天橋の前につくよ！

そして、江の島弁天橋を渡って江の島に入り、まっすぐ進むと、弁財天のまつられている、江島神社の入り口に到着〜！

スタート地点の藤沢駅から江の島まで、ぼくの場合は一時間ほど歩いて着いたよ。

ちなみに、今は江の島まで行くのに橋を渡るけど、江戸時代は下の浮世絵のように近くの砂浜を歩いたり、船に乗って江の島まで渡っていたんだよ。

さらに、海水面がもっとも下がる干潮の時には、江の島と海岸の間に、「トンボロ」という砂でできた道があらわれるよ！江戸時代や、それより昔の鎌倉時代の人たちは、干潮の時にはその道を歩いて、江の島まで渡っていたんだ。

こうした江の島までの道のりや歩き方について、江戸時代と今でどんな違いがあるかを調べてみても面白いよ！



うたがわくにやす だいめい ふしよ 江 しま さんけい
歌川国安 「題名不詳 (江の島参詣)」



きた がわうたまる だいめい ふしよ 江 しま べんざいてん かいちよう
喜多川歌磨 「題名不詳 (江の島弁財天開帳)」

みんなも江の島道を歩いて、江の島まで行ってみよう！

